

1 単元名 様々な面からみた日本
「世界と日本の産業・資源」(全6時間)

下呂町立竹原中学校 遠藤章彦

2 単元のねらい

世界的視野から見て、日本は資源に乏しい国であるが、資源を輸入し加工技術を生かした工業を中心に発展するとともに、土地を高度に利用するなどして産業が盛んな国であることをつかむことができる。

日本国内では、地域の環境条件を生かした多様な産業地域がみられ、環境やエネルギーに関する課題に向かって取り組んでいることを理解できる。

3 単元で培いたい学び方

世界的視野から見た日本の地域的特色をとらえるために、地図やグラフなどの資料をもとに考える学び方。

4 内容のまとめりとごとの評価規準 地理的分野の内容(3)ア 「様々な面からとらえた日本」

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用 of 技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
日本の国土の特色に対する関心を高め、それを世界的視野と日本全体の視野に立って様々な面から意欲的に追究し、我が国の国土の特色をとらえようとしている。	日本の国土の特色を世界的視野と日本全体の視野に立って様々な面から追究するとともに、地域間を比較し関連付けて地域的特色を明らかにする視点や方法を考察している。	世界や日本の地図や統計その他の資料を収集し、様々な面から日本の国土の特色をとらえるための情報を適切に選択して活用するとともに、我が国の国土の特色を追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	世界的視野と日本全体の視野に立って様々な面からとらえた日本の国土の特色とともに、地域間を比較し関連付けて地域的特色を明らかにする視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。

5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用 of 技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	世界的視野から見た日本の産業の特色や環境条件を生かした多様な産業地域の様子を意欲的に調べようとしている。	日本の産業の発展を、社会条件や自然条件、将来性、外国との関わりなど多面的・多角的に考察している。	社会条件や自然条件など環境条件を生かした多様な産業地域の様子を写真、グラフ、地図などの資料から読みとっている。	世界的視野から見ると、日本は資源が乏しいが、加工貿易技術によって工業を発展させてきたこと、さまざまな環境条件を生かして多様な産業を発展させてきたことを理解している。
学習活動における具体的評価規準	資源に乏しい日本と世界でもトップクラスの日本という矛盾点から課題や疑問を持っている。 【第1時 発言 ノートの記述】	水産業や林業の問題点を貿易などの外国との関係や後継者問題、利益などの視点から1つ以上ノートにまとめている。 【第4時 発言 ノートの記述】 国際化が進む中、今後の日本の産業のあるべき姿を、外国人労働者や環境といった視点で考えている。 【第6時 発言 ノートの記述】	日本の農業における生産性を高める方法について品種改良やビニルハウスを使つての年間出荷、台地などを利用した栽培など1つ以上の方法をまとめている。 【第3時 発言 ノートの記述】 日本の伝統工業を資料をもとに5つ以上書き出し、その中からひとつを取り上げ、その伝統工業が生まれた背景を地域の自然環境や特産物と関連づけてまとめている。 【第5時 発言 ノートの記述】	原料を輸入し、機械製品を多く輸出するために太平洋ベルトを中心とした沿岸部に工業地帯が発達していることを理解している。 【第2時 発言 ノートの記述】

